

令和6年度第6回教育研究評議会議事録

日 時 令和6年10月16日(水) 14時30分から16時6分まで
場 所 S-Port 3階大会議室、事務局棟5階大会議室
出席者 日詰、塩尻、川田、森田、大場、青木、佐藤、鎌塚、高倉、本橋、近藤、
上藤、村山、延原、笹原、小西、山本、竹内、福田、宮原、加藤、西村、
池田、水谷、原和彦、原正和、今泉、間瀬、河合の各評議員
越水教授(木村評議員の代理)
欠席者 川村、二又、田中、平井、木村の各評議員
陪席者 飯田、河島の各監事、小野学長補佐、金原学長特別補佐

I 前回議事録の承認

令和6年度第5回教育研究評議会議事録を原案どおり承認した。

II 審議事項

1 静岡大学の将来構想について

議長から、静岡大学の将来構想について、資料1により、令和6年9月19日から令和6年10月16日までの会議等の開催状況の報告があり、続いて意見交換を行った。

<委員等から出された意見>

福田委員：今まで何度も、経営協議会では、合意書などの後ろ向きの議論ではなく、本学をどうしたら良いのかという前向きな議論を経営的な視点からしてほしいとお願いしてきたつもりだが、なかなかそのような議論ができていないことは残念に思う。
議長：教育研究評議会の構成員から意見があった旨、経営協議会で報告する。

2 令和7年度非常勤講師所要時間数(案)について

塩尻委員から、令和7年度非常勤講師所要時間数(案)について、資料2により説明があり、審議の結果、これを承認した。

<委員等から出された意見>

福田委員：令和10年度までに3%減とのことだが、基準年はどこになるか。

塩尻委員：令和6年度である。

間瀬委員：現在は、大学のコマ数が多すぎるのではないか。

塩尻委員：そのとおりで、一番多くを占めているのが教養教育である。今後の財務状況を見ながら、かつ教育の質を落とさないようにカリキュラムの改革を進める必要がある。大学教育センターの教養教育科目に3%のシーリングを入れなかったのは、結局そこをマイナスにすると、授業科目を減らさなければ学部で見てもらうこととな

るためである。ひとまずは、国際連携推進機構と大学教育センター、新学部、部局で3%減とした。次のステップでは、いかに教育の質を落とさず、オンラインやオンデマンドを活用し、他大学の授業もうまく組み込みながら、非常勤講師所要時間数を減らしていくか、という話になると思う。

間瀬委員：数値目標だけでなく、ぜひ中身の議論も進めてほしい。

3 エンケイ株式会社と静岡大学の包括連携協定について

川田委員から、エンケイ株式会社と静岡大学の包括連携協定について、資料3により説明があり、審議の結果、これを承認した。

<委員等から出された意見>

福田委員：補足となるが、今年度、産業イノベーション人材育成プログラムでエンケイ株式会社様から1テーマ提案をいただき、学生がPBL教育に取り組んでいる。

4 教員の懲戒について

議長から、教員の懲戒について、別紙により説明があり、審議の結果、これを承認した。

<委員等から出された意見>

間瀬委員：告示文にジェンダーや年代を記載するのは、どのような意図があるのか。

依藤総務部次長：前例にのっとったものである。個人を特定しない範囲内で、ある程度の人物像を説明する情報として記載している。

Ⅲ 報告事項

1 令和6年度第6回企画戦略会議（令和6年10月2日）報告

議長から、令和6年度第6回企画戦略会議（令和6年10月2日）について、資料4により報告があった。

2 令和6年度ハラスメント防止対策研修（オンライン研修）の実施結果について

高倉委員から、令和6年度ハラスメント防止対策研修（オンライン研修）の実施結果について、資料5により報告があった。

<委員等から出された意見>

飯田監事：77.7%という受講率についての評価と、受講率が低いセグメントへの対応について教えていただきたい。

高倉委員：受講率については、今年1、2月に実施した前回から期間を空けずに実施し

たことが要因の一つかと考えられる。毎年、受講率を上げるためにリマインドをする
とともに、各学部を受講者・未受講者の名簿を渡すという工夫をしているので、一層
徹底していきたい。

3 学長選考・監察会議の審議状況について

山本委員（学長選考・監察会議副議長）から、学長選考・監察会議の審議
状況について、資料6により報告があった。

4 教員採用等報告について

議長から、教員採用等報告について、資料7により報告があった。

5 学長決裁により改正した規則等について

議長から、学長決裁により改正した規則等について、資料8により報告が
あった。

IV その他

1 DE&I推進室ロゴマークの人気投票について

本橋委員から、DE&I推進室ロゴマークの人気投票について、資料9に
より説明があった。

2 Giving Campaign 2024 へのご協力のお願

依藤総務部次長から、Giving Campaign 2024 へのご協力のお願につい
て、席上配付資料により説明があった。

以上